

応援する人も力が入る大熱戦

ひいて ひかれて 第29回市民綱引き大会

1月26日、ホワイトキューブで「ひいて ひかれて第29回市民綱引き大会」を開催しました。この大会は、運動不足になりがちな冬場の体力づくりと、学校のクラスメートや職場の同僚などの仲間と親睦を図ることを目的に開催。今年の大会には、小学生の部17チーム、中学生の部4チーム、一般の部17チームの合計38チーム約500人が参加し、みんなで力を合わせて1本の綱を引き合い、頂点を目指して熱戦を繰り広げました。

見ている人も思わず力が入る大熱戦の末、小学生の部は白石第一小学校の「マスクで予防」チーム、中学生の部と一般の部では「白石三省塾柔道スポーツ少年団」チームがそれぞれ優勝しました。

優勝した白一小的児童は「声が出て姿勢も良かったので勝てたと思います。優勝できてうれしいです」と話していました。



1_小学生の部で優勝した白一小「マスクで予防」チーム
2・3_一般の部と中学生の部を制した「白石三省塾柔道スポーツ少年団」チーム

種目を超えてみんなで仲良く

第29回白石市スポーツ少年団交流大会

2月9日、ホワイトキューブで「第29回白石市スポーツ少年団交流大会」が開催され、12団体から18チーム約150人の選手が参加しました。この大会は、市内のスポーツ少年団が一堂に会し、レクリエーション活動をする事で、お互いの交流を深めながら、青少年の健全育成を図ることを目的に開催されています。

この日行われたのは、団や年齢の異なる選手が色別の混合チームに分かれて行う交流種目と各団の対抗戦で行う対抗種目。交流種目では、列ごとにボール送りの速さを競う「小玉まわし」や、かごに玉を投げ入れてリレーする「玉入れ」が行われ、対抗種目では、「大縄跳び」の回数を競ったり、2人一組で行う「ぞうきん掛けリレー」の速さを競ったりしました。

この日は選手だけでなく、運営を支えた指導者・保護者の皆さんも、普段とは違う仲間と接し、お互いの親睦と交流を深めていました。



1_「玉入れ」はかごに玉が入ったら次の人へ！ 2_タイミングを合わせて「大縄跳び」に挑戦 3_2人の息が合わないと難しい「ぞうきん掛けリレー」

悪い心を追い出せ！

豆まきの会

1月31日、白川保育園と認可保育所あそびの森、ひかり幼稚園の園児約230人が、すまいるひろばで豆まきをしました。

この催しは、節分の日を前に子どもたちに豆まきを楽しんでもらおうと、白石まちづくり株式会社が企画した恒例行事。

ステージから「散らかし鬼」、「かぜひき鬼」、「おこりんぼ鬼」が現れると、子どもたちは元気に声を上げながら新聞紙を丸めた「豆」を投げ、心に住んでいる悪い鬼を退治しました。



▲元気一杯に豆を投げる園児たち

地元高校の名物に舌鼓

おもしろい市場で「肉めし」を販売

2月8日と9日、おもしろい市場で白石高等学校の名物「肉めし」が限定販売されました。「肉めし」は、白石高校生が白石産ササニシキを使い、地域を盛り上げようと企画したもの。昨年11月に開催したイベントで好評だったことから、同市場に販売を働きかけ実現。お昼には、こじゅうろうキッズランドで過ごした家族連れなどが訪れ、約70杯を売り上げました。

おもしろい市場では、毎月販売イベントを行っていく予定です。



▲少しピリ辛な肉めしは子どもにも人気！

迅速な避難を目指します

グループホームで避難訓練

1月27日、グループホームたかのすで福祉車両を活用した避難訓練が行われました。

同施設は、昨年の台風19号により入居者が避難したことから、より迅速で安全に避難できるよう、本市と災害協定を結んでいる株式会社大正自動車の協力を得て、福祉車両を用いた避難訓練を実施しました。

今回の訓練では、「避難準備・高齢者等避難開始」発令を想定して行われ、避難にかかる時間や通行ルートなどを確認しました。



▲車イス利用者も安全に乗れる福祉車両